

第419回:新指導部の船出

きのうは久しぶりに忙しかった。第二期習近平体制発足に関する書き物や電話取材に追われ、やっと終わったと思ったら今朝は大量の新聞切抜き作業。ボクは寄席の紙切り職人ではないのだが・・。

各紙にざっと目を通したが、流石はプロだけあって、証券会社が発信する各種レポートなんかとは比較にならぬ見事な文章だ。決定的な違いは「見出し」だ。そもそも日本語の水準が違うので仕方ない部分もあるが、いくら中身が充実していても、人に読んで貰おうと云う情熱の感じられないレポートはゴミ箱に捨てるしかないし、読者目線で書かれた文章は、中身がたいしたことなくても、襟を正して読むに値する。

今朝の記事で秀逸だったのは、新指導部の経歴を紹介した各紙の寸評だ。◎○△は私見です。

①習近平:◎権力闘争に翻弄 奥に激しい情念(日経)

△「反腐敗」に支持 権力集中(読売)、

②李克強:○存在感低下で交代説 正念場(読売)

△胡錦濤氏直系 共青团に足場

③栗戦書:◎仕事人「皇帝の侍従」(読売)

△習氏の最側近 舞台裏支える(日経)

④汪洋 :○改革能力の芽 鄧小平氏着目(日経)

△「改革派」の経済通(読売)

⑤王滬寧:○3代の演説起草家(読売)

○総書記の頭脳 3代に仕える(日経)

○政策理論の中心 存在感(朝日)

⑥趙樂際:◎習氏父の墓地拡張(読売)

△習氏人事戦略 まとめて頭角(日経)

△地方指導者として実績

⑦韓正 :○上海一筋 40年 バランス定評

△異色の「上海一筋」

党中央政治局委員 25名

常務委員 7名(序列順)

習近平、李克強、栗戦書、汪洋、
王滬寧、趙樂際、韓正

上記以外の政治局委員 18名(筆画順)

丁薛祥、王晨、劉鶴、許其亮、孫春蘭
李希、李強、李鴻忠、楊潔篪、楊曉渡、
張又俠、陳希、陳全国、陳敏爾、胡春華
郭声琨、黃坤明、蔡奇

一癖も二癖もある政治家を一口で形容するなんて、できっこないのだが、コンパクトな記事の中で、読者に伝えるべき最重要事項を見出しにどう凝縮させるか、それは単なる修辞の技法ではなく、ビジネスマンに求められる人を説得する能力にも通じるセンスだと思う。上記下線部は特に見事ではないだろうか。

いちばん笑える MVP 級の見出しは「墓地拡張」。趙樂際氏が生まれ故郷の青海省党委書記から習近平一族の故郷である陝西省党委書記に転出したとき、習近平氏の父親の墓地を拡張したり、習氏が少年時代に下放された農村部に革命教育基地をつくるなど、当時副主席だった習氏にきめ細かな気配りをした人物のようだ。朝日新聞も同氏の「墓地整備」エピソードを紹介しており、これが義理人情に厚い習近平氏を感動させ、趙樂際氏の大出世の糸口となったのは間違いない。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

行動が控えめで目立たない人物であるから、華人社会は彼のことを黒馬(ダークホース)と見ていたが、履歴書を見る限り、北京大卒、最年少 42 歳で省長就任、共産党人事を統括する組織部長とエリートコースまっしぐらの人物であり、妥当な人事ともいえる。

読売は栗戦書氏について、ウケ狙いで「皇帝の侍従」と、習氏にも同氏にも失礼な見出しをつけたので、それをフォローするため「仕事人」とおだてたようだ。習氏を敵から守るため行事日程、食事、宿泊、面談者の選定、機密書類の保管等に責任を持つ職務で、要は侍従だ。侍従が失礼なら侍従長と呼んでもよい。

今回の党大会は、名実ともに習氏の、習氏による、習氏のための党大会であった。すっかり政権運営に自信をつけたようで、腹心を配下に置くための強引な昇格が目立った。

共産党の出世階段は、ふつう一般黨員⇒中央候補委員⇒中央委員⇒政治局委員⇒政治局常務委員と、ながい坂を一步ずつ上がるのが通例だが、25 名の政治局のなかに、3 段飛びが蔡奇(北京市党委書記)、楊曉渡(規検委副書記)、2 段飛びが李希(遼寧省党委書記)、丁薛祥(中央弁公庁副主任)、黃坤明(宣伝部副部長)と、これまで異例とされてきた飛び級人事が、気前よく乱発されている。

きのう発表された人事の中で注目すべきは「中央書記処書記」を構成する王滬寧、丁薛祥、楊曉渡、陳希、郭声琨、黃坤明、尤權の 7 名で、これが第 2 期習近平政権において日々の党務を取り仕切る実働チームだ。共産党のエリートコースである最重要部署のキーパーソンで構成されている。以下に氏名を発表順に記す、今後のポストが未だ発令されていない人もいるので、下の★はボクの予測。

政治局常務委員・王滬寧(統括、外交)、政治局委員・丁薛祥(弁公庁副主任⇒★主任・総務秘書)、同・楊曉渡(規検委副書記)、同・陳希(組織部副部長⇒★部長・人事)、同・郭声琨(国務委員・公安担当⇒★政法委書記)、黃坤明(宣伝部副部長⇒★部長)、中央委員・尤權(事務局か)。

共産党の出世コースと日本企業のそれは少し異なっており、党の要職を日本に置き換えると、秘書室長、検査部長、人事部長、営業推進部長。公安や諜報は日本企業では取り扱わないので書きようがない。

最後にウンチクをひとつ。中国人の姓は多い順に王李張劉陳楊黃趙吳周、これがベスト 10 だが、今回の 25 人の中に、李克強、李鴻忠、李希、李強と李さんが 4 人もいる。陳さんは陳敏爾、陳希、陳全国の 3 人、王さんは王滬寧、王晨、楊さんは楊曉渡、楊潔篪で各 2 人。

中国人の姓ベスト 10 に入っていない珍しい姓は、皇帝と侍従の「習」、「栗」のみである。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成29年10月26日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱 UFJ 信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 121 号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3

